

理想とする生徒像	年 間 目 標	①現状をもとに、各学年の目標に向かって、生徒が企画・運営・確認していく場面（ＰＤＣＡサイクル）を設定する。
自治的活動を行うことができ、より良く成長していこうとする生徒集団		②学年内（ヨコのつながり）だけでなく他学年（タテのつながり）も意識し、特別活動部と連携して計画的な仲間づくり活動や自治的活動を実践する。
①分からない問題に対して解決しようと実行し、学びを改善させようとする姿がある		③自分たちの１年間の取り組みを振り返らせ、自分自身の変容を客観的にとらえ、次年度の目標・志を設定し、計画を立てさせる。（自分自身の生き方・成長をＰＤＣＡサイクルで考えさせる）
②フォーサイト手帳を効果的に活用して、チャレンジしていこうとする姿がある		
③志を持って行動に移すことができ、他の人の考えを調整していこうとする姿がある		

目標 番号	1学期に目標を達成するための活動	活動内容	責任者	4月	5月	6月	7月
①	・学年団の教員と共通理解し、 年度当初の学年開きの集会で主任から思いを伝える。 実施できたか	・年度当初の学年会で、目指す生徒像への思いを学年所属教員に伝える。	学年主任				
		・年度当初の学年集会（開き）で、目指す生徒像への思いを生徒に伝える。	学年主任				
		・適宜、教員・生徒に声掛けをしていく。	学年主任				
①	・適宜、学年集会を開き、教員の思いを生徒に伝える。 実施できたか	・必要に応じて、合同帰り学活での学年集会など、学年集会の機会を設定する。	学年主任				
①	・定期的に正副室長会を開催し、現状をもとに改善策などを検討し、学級に返していく。 実施できたか	・定期的に正副室長会を開催し、生徒同士で課題を見つけ、改善案を出させる。	学年主任		主体的に動けた…肯定的意見90%以上		
		・全校集会の場を利用して、各学年の正副室長会の代表に取り組み状況を発表させる。 (情報の共有)	学年主任				
②	・特別活動部と連携して学年内、また、他学年との仲間づくり活動を企画・実践する。 実施できたか	・教員がフォローしながら、生徒会執行部、正副室長にコロナ禍でも実施可能な仲間づくり活動の企画を考えさせ実施する。	学年主任 (生徒会担当)		クラス全員の良いところを言葉にして言える。 今自分が所属しているクラスが好き。 ・・・肯定的意見が80%以上 『学年仲間づくり活動』・『全校（縦割り）仲間づくり活動』の企画・実施 ※学期中に1回		
		・感染防止対策を十分に行い、様々な制約がある中でも実施できるよう工夫を行う。	部員				